

大阪市立阿倍野防災センター 平面図(3階、一部4階)

①おおさか防災情報ステーション
 大阪市全域の被害想定を、円形画面に投影された映像で直感的に感じるとともに、手元の端末で地域特性に応じた災害危険を学ぶ。また、災害別情報スクリーンでは、災害ごとのリスクとその対応策を学ぶ。

総合訓練室
 建物の居室と防災センターを想定した空間で、火災時に必要な総合的な行動シミュレーション(消火活動・避難誘導など)を学ぶ。



防災研修室
 基本的な防火、防災・減災に関する知識をはじめ、災害の発生状況やその対策など、広く防災・減災に関する講習を行う。マイク設備、プロジェクターなど完備。(移動椅子席160席)

防災設備室
 建物で実際に使用されている各種消防用設備等の展示により、構造及び作動状況などを学ぶ。スプリンクラー設備などの消火設備も設置されており、作動の様子をわかりやすく学ぶことができる。

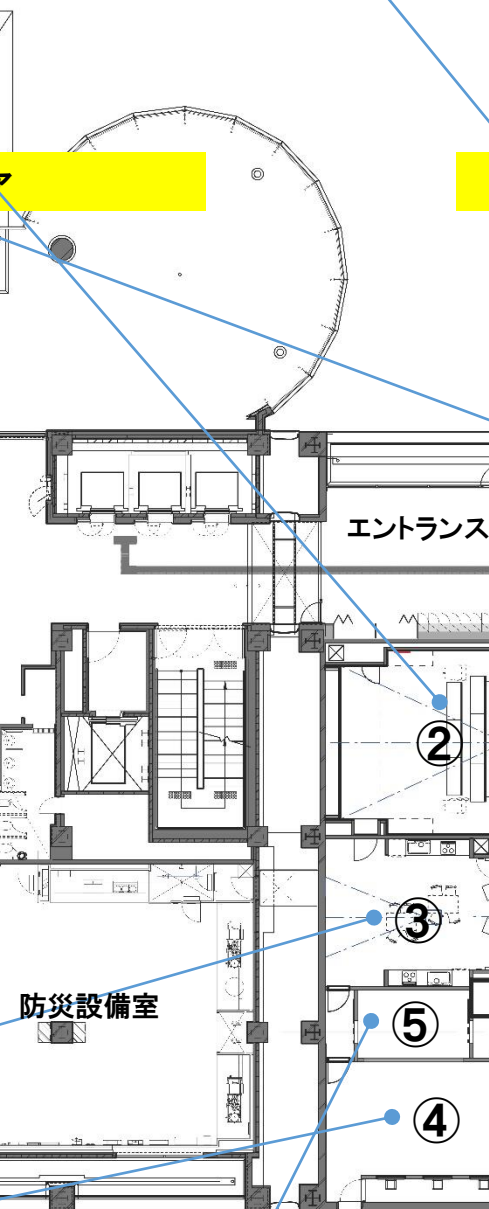
③減災を学ぶ
 地震発生時の映像とともに、地震発生直後から避難するまでの間に取りべき行動を、自宅を模したリアルな空間で学ぶ。

②タスカルシアター
 大阪市で発生しうる災害をテーマにした3本のストーリーを、高さ6m超の巨大スクリーンにより、迫力ある映像で体感する。



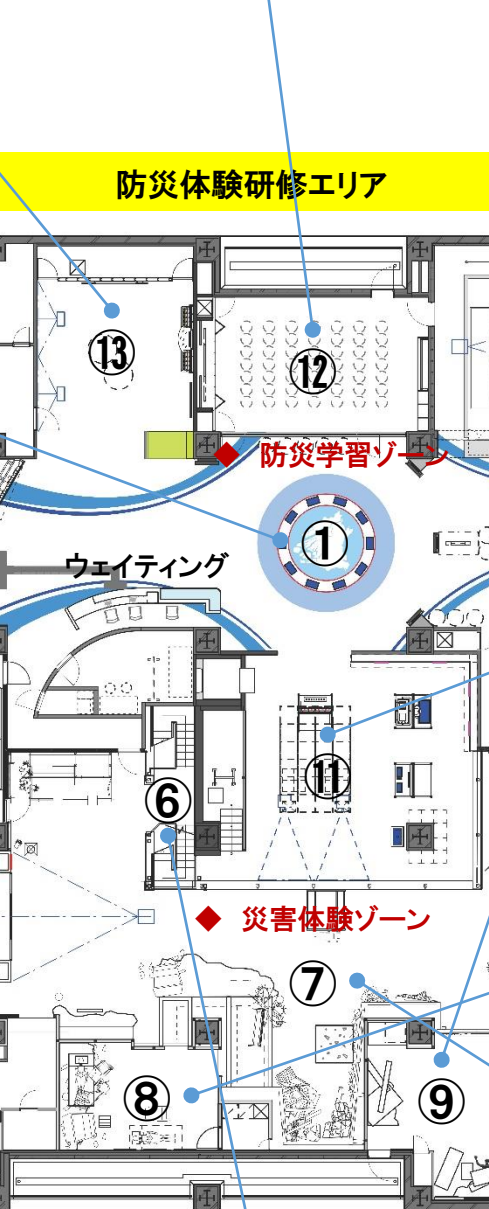
④消火を学ぶ
 火災現場に遭遇した状況を想定し、初期消火の手順を体験するとともに、初期消火の限界や避難のタイミングを学ぶ。

⑬キッズしょうぼうパーク
 オリジナルキャラクターを用いた防災ダンスや防災クイズなどにより、親子連れが子どもと楽しみながら防災を学ぶ。



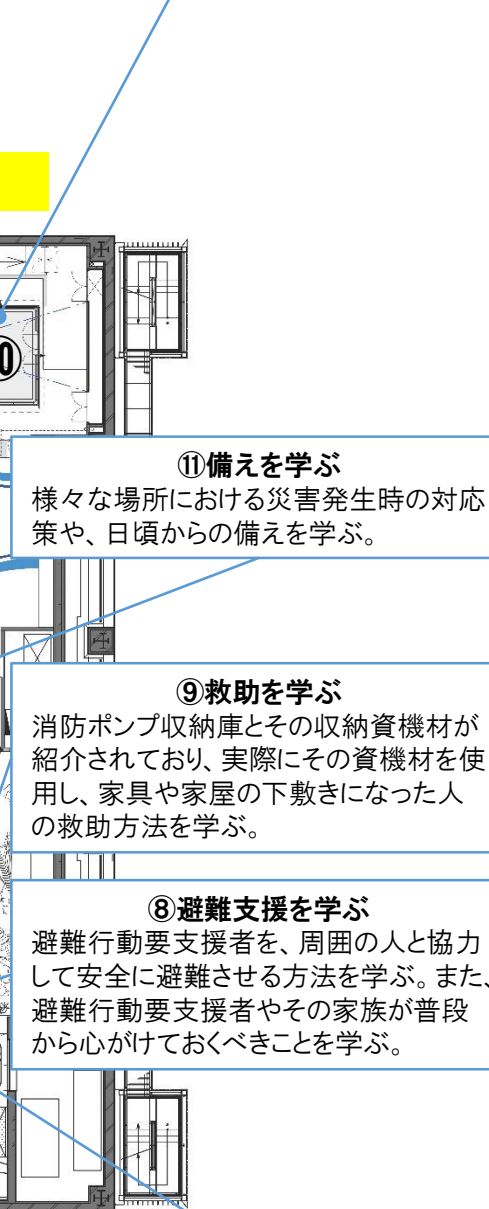
⑤煙を学ぶ
 実際に煙の中を避難する体験により、正しい避難姿勢や煙の怖さを学ぶ。

⑫救護を学ぶ
 止血や骨折時の固定方法など、いざというときに役立つ応急救護を学ぶ。多目的スペースとして研修にも使用され、使用時以外は、幼児向けのオリジナル防災アニメを放映。



⑥津波避難を学ぶ
 南海トラフ巨大地震発生時の大阪市の予想津波高を実寸大で体感し、建物が浸水していく映像により、津波の怖さを学ぶ。

⑩震度7体験
 起震装置と映像により、過去の大地震や南海トラフ巨大地震により想定される揺れを体験し、地震の怖さを学ぶ。



⑪備えを学ぶ
 様々な場所における災害発生時の対応策や、日頃からの備えを学ぶ。

⑨救助を学ぶ
 消防ポンプ収納庫とその収納資機材が紹介されており、実際にその資機材を使用し、家具や家屋の下敷きになった人の救助方法を学ぶ。

⑧避難支援を学ぶ
 避難行動要支援者を、周囲の人と協力して安全に避難させる方法を学ぶ。また、避難行動要支援者やその家族が普段から心がけておくべきことを学ぶ。

⑦がれきの街(余震体験)
 大地震に見舞われ、被害を受けた街の状況を実寸大で体感し、2つの余震体験により、災害発生直後の街に潜む危険を学ぶ。